

2015年度 第18回 関西まちづくり賞 表彰式を開催

日本都市計画学会関西支部では、1998年度から「関西まちづくり賞」を設け、まちづくり、都市計画の進歩・発展に著しい貢献をした優れた成果又は実績を表彰しています。2015年度は、2つのプロジェクトを表彰しました。

表彰式は、2016年4月2日（土）、関西支部総会に引き続いて開催し、表彰状及び楯の授与の後、受賞者によるプレゼンテーションと、パネルディスカッションを行いました。



受賞のみなさんと支部長、関西まちづくり賞委員会委員

<第18回 関西まちづくり賞 表彰プロジェクトの紹介>

キャストィ21エントランスゾーン（姫路駅北駅前広場等）の整備

～播磨の玄関口にふさわしい「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」の誕生～（兵庫県姫路市）

受賞者：姫路市

本プロジェクトは、姫路市の中心駅、姫路駅前のキャストィ21エントランスゾーンにおいて、平成元年から始まった連続立体交差事業、土地区画整理事業等の長期にわたる市の取組みの集大成として、市民や専門家との協働のもと、駅前広場、トランジットモール、サンクンガーデン、



受賞おめでとうございます！



活動のプレゼンテーション

姫路城の展望デッキ等の整備により、姫路・播磨の玄関口に相応しいまちづくりを成し遂げた好

例です。計画・実施にあたっては、積極的に市民参加のプロセスを経ており、立体都市計画制度の活用や鉄道高架下スペースの活用により、歩行者通路やバス・タクシーの一時待機場所を確保し、ゆとりのある環境空間を備えた機能的な施設レイアウトを実現したほか、前例のない駅前におけるトランジットモール化を、2年半にわたる社会実験による影響・課題把握と市民団体等との協働を経て実現したこと等が評価されました。

枚方宿地区まちづくり協議会活動 ～歴史と現在の共存から未来へ繋ぐ架け橋に～（大阪府枚方市）

受賞者：枚方宿地区まちづくり協議会

本活動は、古くからの交通の要衝であり、宿場町として栄えた枚方宿地区において、地域が主体となって、景観づくりと賑わいづくりの両面の取組みを継続し、宿場町としての風情や活気を現代のまちに甦らせてきた好例です。平成13年に自主的な「まちづくり協定」が締結され、地域住民自らが建物等のデザインや色彩をコントロールし、まちなみ景観を改善することを皮切り



受賞おめでとうございます！



活動のプレゼンテーション

に、平成14年の街道菊花際、平成18年の町家情報バンク設立、平成19年の月1回のくらわんか五六市の開始、平成23年のチャレンジショップのオープンと、景観づくりと賑わいづくりを常に関連させながら積極的に活動を前進させてきており、地域主導のまちづくりのモデルになると評価されました。くらわんか五六市は、開始当初は50店舗だったものが現在では250店が出店されるようになり、来場者も9,000人に達するまちづくりの牽引役として成長しました。平成27年の一般社団法人の設立は、地域が運営する形態を守りながら、利益を還元できる仕組みにつながっており、活動の持続性に貢献しています。枚方市は行政機関として地域活動の裏方に徹し協議会活動をサポートしてきており、協議会との良好なバランスを保ってきています。



パネルディスカッション